

テーマ：Color

テーマを設定する

マットの上で色探し
マットを使った遊びを発展しよう

活動 ～色探し～滑り台～平均台～

環境をデザインする

戸外活動では教具を用いて季節に合った色探しを取り入れ、いつも見ている風景にどのような色があるのか探しています。室内でもカラーボールを用いて色探しをしました。

- 準備したもの
マット、カラーボール、平均台

探究活動を実践する

- 活動内容
色探し、色集め
運動遊び（平均台、滑り台）

- 子ども達の様子
色探しでは、マットの上の転がったカラーボールをハイハイや歩いたりして、体を動かしながら取り組んでいた。
さらに遊びを発展させ、マットを折り曲げて滑り台にしたり、高さを出して平均台にしたりとさまざまな使い方で楽しんでいた。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
色探し、色集め	15分	6人3回
平均台	10分	6人4回
滑り台	15分	6人4回



振り返りをふまえた気づき

マットがあることで、子どもの怪我を未然に防ぐことが出来た。また、一つのもので遊びを展開させることで、遊びの幅が広がった。

テーマ：Color

テーマを設定する

マットの上で色探し
巧技台を使って体の動かし方を知る

活動 ～運動遊び～色探し～

身体を動かすことが楽しい時期でもあるため、巧技台を使用し、ダイナミックに動く楽しさを味わえるようにする。また、目線が変わることで見える景色の変化や面白さにも気付くきっかけにしようと思った。

環境をデザインする

- 準備したもの
巧技台、マット

探究活動を実践する

- 活動内容
色探し
運動遊び（巧技台、マット）

- 子ども達の様子
運動遊びでは、巧技台の階段を上ったり、滑り台を滑り下りたりする中で体の動かし方を知ることが出来た。最初は上手く登れなかった段差も自分で器用に登れるようになっていた。また、巧技台に登って上から見ることで視界が変化し、普段見えないところにある色を発見することが出来、色探しの活動にも繋げることが出来た。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
運動遊び	20分	10人3回
色探し	10分	10人2回



振り返りをふまえた気づき

園内に固定遊具がなく、滑り台などの使い方を知る機会が少なかったが、巧技台があることで園内でも経験出来るようになった。また、使用してみて子どもの発言から活動を発展することが出来た。

テーマ：Color

テーマを設定する

センサリーマット

活動 色の名称～サーキット～色あてゲーム

歩けるようになってきたため、足の裏の感覚刺激やいろんな感触に触れる活動をしようと考えた。

環境をデザインする

●準備したもの

平均台、滑り台、マット、センサリーマット

探究活動を実践する

●活動内容

0～2歳児対象

0歳児：足裏の感覚刺激、バランス

1歳児：バランス感覚、色の名称

2歳児：色あて一む、サーキット

●子ども達の様子

今までになかった道具だったため子ども達も興味を示して

いた。テーマ活動から色に対する興味や探求心があったため

「何色？」と聞く子どもや「赤！」と指差して名称を言う子どももいた。また、2歳児は保育士の言った色を通して進むゲームもおこない、テーマに繋げることが出来た。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
運動遊び	20分/2回	6人/2回
サーキット	15分/3回	9人/3回
色探し、サーキット	30分/1回	10分/1回



振り返りをふまえた気づき

足の裏を刺激することによって、体幹やバランス感覚を強化することが出来た。また、サーキットの道具も増えたことで活動の幅が広がり、子どもの様子から活動の展開をすることが出来た。

テーマ：Science

テーマを設定する

身近な物事や性質に興味を持つ。

活動 ～磁石実験～サイエンスショー～シャボン玉実験～

日常に起こりうる様々な現象や触れているもので実験をおこない、そこから生まれた「なぜ？」に対して、「こうかもしれない」という自分の意見を持つ。また友達と意見を交換し合う中で共感をし、人と異なった意見を持ったことに対して自信を持つことに繋げてく。

環境をデザインする

●準備したもの

磁石、磁石ビンゴ、段ボール空気砲、風船、人間型の紙、ストロー、シャボン玉液、絵の具

探究活動を実践する

●活動内容

磁石実験

サイエンスショー

シャボン玉実験

●子ども達の様子

磁石実験ではビンゴを元にくっつくものを探していると、金属にくっつくことに気が付いていた。また人間型の紙を手のひらにのせると踊り出しているのを見て、「手のひらから空気が出てるのかな」「手が温かいからかな」などと実験の中で出た疑問に対して自分達なりの考えを出していた。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
磁石実験	4 5分	2 0回
サイエンスショー	4 5分	1 0回
シャボン玉実験	4 5分	2 0回



振り返りをふまえた気づき

実験をおこなう中で不思議や楽しいだけでなく、なぜだろうと疑問や答えを考えることが出来ていた。答えをすぐに提示するのではなく、自分達なりの考えを引き出す声掛けをおこなっていく。

テーマ：Universe

テーマを設定する

宇宙について興味を深める

活動 ～宇宙の始まりについて知る～DVD鑑賞～模写

以前から関心の高い惑星や宇宙について、子ども達の意見を取り入れながら活動を展開する。

環境をデザインする

●準備したもの

ボウル、墨、水、ラメ、ブルーシート
プロジェクター、図鑑、机、椅子
机、椅子、色鉛筆、紙

探究活動を実践する

●活動内容

- ・宇宙の始まりについて知る
- ・DVD鑑賞
- ・模写

●子ども達の様子

・宇宙の始まりについて知らせ、そこから宇宙に興味を持ち始めた。その後惑星が紹介されているDVDを見たことで疑問を持つ姿も増えた。その後は図鑑を使って自ら調べ、知識を深めていった。最後は模写をおこない、図鑑を見ながら色や模様をこまかく描き上げることが出来た。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
宇宙の始まり	20分	12人/1回
DVD鑑賞	30分	12人/1回
模写	30分	12人/1回



振り返りをふまえた気づき

宇宙への興味が高まってから、DVDや図鑑を取り入れたことで、さらに興味を深めることが出来て良かった。図鑑を活用できる方法があるとより広がっていくと感じた。

テーマ：Universe

テーマを設定する

毎年行っている合奏。年長になると楽器の数も増え子ども達も楽しみにしていた。自分たちの奏でる音色で作られる音の世界を通して友達の作り上げる楽しさを感じてほしいと思い、この活動をおこなった。

活動 ～担当の楽器を決め演奏をする～

各楽器ごとにリズムうちの楽譜を準備する。同じ楽器同士の友達と一緒に教え合ったり、職員がそばについて合図を送りながら練習をした。

環境をデザインする

●準備したもの

木琴・ドラム・ドラムスタンド・他楽器・各楽器ごとの楽譜、ピアノ

探究活動を実践する

●活動内容

- ・楽譜を見ながらリズム打ちの練習をする。
- ・ピアノの音に合わせて、他の楽器と演奏をする。

●子ども達の様子

楽器ごとの音の出し方やリズム打ちが最初は難しい様子だった。楽器ごとに音の出し方や楽譜を見ながら練習をしていくうちに、綺麗に音が出せるようになったり、子ども自身も感覚をつかんでいった。個々のリズム打ちが出来るようになってからは、ピアノの伴奏に合わせ、他の楽器と合わせて合奏する楽しさを少しずつ感じられるようになった。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
リズムうち	30分/回	楽器ごと/回
他の楽器も合わせる	10分/回	12名/回
舞台上に立ち発表	10分/回	12名/回



振り返りをふまえた気づき

叩き方によって音色が異なるため、子どもによっては感覚をつかむまでに時間がかかっていた。しかし少しずつ綺麗な音が出るようになっていたり、不安そうな子どもには「大丈夫だよ」と声をかけ、自信をもって発表できるように関わりを持った。その結果子ども達も楽しんで発表することができた。

テーマ：食育

テーマを設定する

正しい食器の位置を知ろう

活動 食器の置き方（食事中）

年齢によっては自分で配膳をおこなっている。自分で食器を並べたりすることで食への興味にもつながる。

環境をデザインする

- 準備したもの
給食見本

探究活動を実践する

- 活動内容
正しい食器の位置を知り、食べ進める

- 子ども達の様子
子ども達の食事中、食器の置く位置がずれてしまったり、違う置き方で食べ進めていることがある。給食見本を見せると、配膳中に指をさしながら置き方を確認する姿が見られた。0歳児は「ご飯は左だよ」と声をかけながら食器を保育者がかえると、その様子を見つめていた。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
配膳	5分/回	14人/都度
食器の置き方（食事中）	30分	14人/都度



振り返りをふまえた気づき

保育者が意識をして子ども達に伝えていくことで、子ども自ら気に掛ける様子もあった。正しい皿の置き方や持ち方など子どもが理解できるよう見本を見せ知らせていく。

テーマ：食育

テーマを設定する

食べ物の栄養に興味を持つ。

活動 食品成分表

毎月のクッキングや国際食、郷土食メニューを通して、食材に関心を寄せていた。自分たちが日々食べている物で体が作られること、食事の大切さも伝えようと思った。

環境をデザインする

●準備したもの

給食見本・栄養素表・食品カード

探究活動を実践する

●活動内容

給食を食品成分表で分ける。

●子ども達の様子

ランチを食べている時に「今日は〇〇が入っているね」やクッキングをした友達に「何の野菜を使って作ったの？」など日常から食べ物に関心を持っている様子だった。回数を重ねるごとに料理に入っている食材を細かいところまで考えることが出来ていた。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
食品成分表	30分/1回	2人/1回



振り返りをふまえた気づき

続けることによって栄養素を自分たちで分けることが出来るようになってきている。繰り返し実施することでさまざまな食材や調味料に関心が広がっていくため、引き続き成分表の取り組みを実施していく。

テーマ：食育

テーマを設定する

伝統に関心を持ち、春の七草を知る。

活動 春の七草の紹介

旬の食べ物を知らせることで季節を感じたり、日本の伝統行事への興味にもつながっていく。また七草にはそれぞれ異なる名前や形があるため、実際に触れたり、匂いを嗅いだりすることで、食材への関心をつながっていく

環境をデザインする

- 準備したもの
実物（春の七草）・絵カード

探究活動を実践する

- 活動内容
春の七草に触れ、実物合わせをする。

- 子ども達の様子
おやつメニューが七草粥で「七草ってなに？」と疑問に持つ子がいた。実物と絵カードを使って紹介すると「大根ってずずしろとも言うんだ」と別名に関心を持ったり、草の特徴が分かりにくい実物合わせにも積極的に挑戦していた。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
春の七草の紹介	20分	35人 /1回



振り返りをふまえた気づき

いくつもある日本の伝統的なものを提示し、忘れずに伝承していく。また、名称などが現代と昔とで違うことに気が付いているので、行事食にかかわらず、子どもが自身が関心が深まるように環境を準備していく。

テーマ：モンテッソーリ教育

テーマを設定する

室内活動でそれぞれの好きな教具を見つける

活動 教具の作成～提示～室内活動

子ども達を日々観察する中で、指先をコントロールする力をつけるために、教具の見直しや作成をおこなった。

環境をデザインする

- 準備したもの
樹脂粘土、絵具

探究活動を実践する

- 活動内容
樹脂粘土の和菓子（室内活動）

- 子ども達の様子
和菓子の形や色の違いに興味を持ち観察することを楽しんでいった。2歳以上の子どもには和菓子の名称を知らせたり、調べてみたりすることでより活動が広がった。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
教具の作成	2時間	
教具の提示	3分/2回	1人/回
室内活動	2.3月毎日	1人/回



振り返りをふまえた気づき

樹脂粘土で作成したため程よい重みがありつかみやすいようだった。和菓子紹介の教具と合わせて出すのも良いと感じた。

テーマ：モンテッソーリ教育

テーマを設定する

室内活動でそれぞれの好きな教具を見つける

活動 教具の作成～提示～室内活動

日々の子どもの興味や発達に合わせて、教具の作成と提示をおこなった。

環境をデザインする

●準備したもの

フェルト、クッキー型、糸

探究活動を実践する

●活動内容

クッキーの型抜き（室内活動）

●子ども達の様子

クッキーの形に合わせて型を当て、手のひらで押して型抜きをおこなっていた。型の形やサイズを見て型を選んでいった。

活動スケジュール

活動内容	時間/回	人数/回
教具の作成	3時間	
教具の提示	3分/2回	複数
室内活動	2.3月毎日	2名/毎回



振り返りをふまえた気づき

年齢によって型のサイズや数など難易度を変えることが出来る。クッキーのサイズを型よりも少し小さく作成すると抜きやすい。